

立憲民主党 立憲民主編集部  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-4  
ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302

〈連絡先・編集〉立憲民主党大阪府第10区総支部  
〒569-0071 大阪府高槻市城北町 1-5-23  
エクセレント城北1F  
Tel. 072-668-5655 Fax. 072-676-7136

あなたの  
ための  
政治。

2021.3.10 号外  
立憲民主  
RIKKEN MINSHU

新型コロナウイルス感染症の拡大は皆さんに  
多くの負担を強いています。仕事を失った、  
収入が激減した、家庭での介護に不安がある、  
子どもが学校に行けなくなった——  
そんな声が私たちのもとに多く届いています。  
いまこそ政治が動かなければなりません。

私たち立憲民主党は、辛抱強く政府に提案  
を続けて、「いのちと暮らしを守る」対策へと  
転換させてきました。

みなさんのどんな小さな声も私たち  
議員団がお聞きし、形にすべく、  
力を合わせてがんばります！



島本町議会議員選挙  
公認候補決定！  
立憲民主党  
東田まさき

#### プロフィール

島本町広瀬に生まれる。島本町立第一小学校・第一中学校・私立此花学院高校卒業。会社員・建設業経営を経て2009年島本町議会議員選挙に挑戦し当選。

現在2期目。2019年5月～島本町議会副議長。立憲民主党大阪府第10区総支部幹事長。

まさき！ まっさき

### 立憲民主党チャンネル《大阪10区》

# オンライン活動報告会

2021年3月28日(日) 14:00~15:00

政治への扉を開こう！よく見える、開かれた政治をめざして、オンラインでの報告会を開催します。国会、府議会、高槻市議会、島本町議会それぞれの報告や、新型コロナ対策最前線の報告をお届けします。みなさま、ふるってご参加ください。

開催10日前から順次ご登録いただいたメールアドレスへ配信URLとご参加に際しての注意事項も併せてお送りいたします。

事前にご意見・ご質問を募集し、  
当日、10区議員が直接お答えします！



お申し込みは  
こちらから

<https://www.kiyomi.gr.jp/online/>

申し込み期限：3月26日(金)12時



辻元清美  
衆議院議員



ののうえ愛  
大阪府議会議員



岡井すみよ  
高槻市議会議員



もりもと信之  
高槻市議会議員



遠矢かえ子  
高槻市議会議員



東田まさき  
島本町議会議員



## 国会論議で 「命と仕事と暮らし」を守る。

高槻・島本のみなさん、衆議院議員の辻元清美です。

今国会、私は憲政史上初の「女性の予算委員会筆頭理事」として臨んでいます。「コロナ禍の国家予算」を審議する予算委員会の責任者として、コロナ対策をはじめ経済、外交、エネルギー政策などの国会論議をリードしています。

### ●国会質問の意義は、 よりよい政策にするため

「野党は批判ばかり」という声を聞きます。テレビのニュースで取りあげられる場面は政府と対立している場面が多いので、そんな印象になるのかも知れません。

しかし、現実とは違います。新型コロナ対策では、政府と与野党の協議の場を設けて野党提案の支援策を実現しています。また、私たち野党は厳しい質問もしますが、これには政府の甘い対応を改善させる効果があるのです。

自民・公明の与党議員は、菅総理の顔色ばかりうかがって政策の問題点を指摘しません。感染が拡大する中でのGoToトラベルも、自民党議員は誰一人「止めよう」と言い出しませんでした。私たちが問題点を指摘してやっと一時停止となりました。

医療現場への支援、税金の使われ方、東京五輪のあり方など、政府に厳しい質問をしたからこそ実態が明らかになり、支援策などが改善し前に進んできたのです。

### ●医療現場、保健所の皆さんを守れ

私は、日夜頑張って下さっている看護師の方々から「本来の看護以外の業務が急増した」と聞き、昨年からは看護師の負担軽減に力を入れてきました。菅総理に直接伝えると「清掃等を専門業者をお願いして負荷を減らす」と公の場で明言されました。

ところが、私が「どれくらい改善したか」を点検するために予算委員会で質問すると、清掃業者との契約成立は、ひと月以上たっても緊急事態宣言下の11都道府県で3件のみと発覚したのです。政府は清掃業者のリストを都道府県に送っただけで何もやっていなかった!ということでした。

私は救急車や軽症者の宿泊施設でも清掃・消毒が追い付いておらず、これが稼働率低下の原因ではと指摘。結局、私のこの質問がきっかけで政府が動き出したのです。現在

は看護師の方々の負担が少しずつ軽減されています。

野党が厳しく問題点を指摘する意義は、政策を前に進めより良くするためなのです。

また、入院を拒否したら刑事罰を科すという法案に対し、私は自治体首長らと相談を重ね「一人一人に寄り添ってきたのに、感染者を告発する立場に立たされるのは耐えられない」という保健所職員の声を委員会で紹介しました。結果「刑事罰」はなくなりました。

### ●東京オリ・パラ大会には 医療スタッフ1万人が必要!

東京五輪に関しても質問、そこで衝撃の事実が明らかに。開催時の医師・看護師等の動員数は1万人以上、とオリ・パラ担当大臣が認めたのです。ワクチン接種時期とも重なるなか、1万人の医療関係者が確保できなければフルサイズでの開催はできないと明らかになりました。

東京五輪については期限を切って開催するかどうか判断するべき。ズルズルお金だけ使って「できませんでした」とはならないよう、厳しくチェックしてまいります。

### ●ワクチン先行接種開始、住民の皆さんの 不安を減らすため政府と議論します

いよいよワクチンの先行接種が始まりました。しかし、政府の説明は二転三転。私は、高槻市の濱田市長をはじめ複数の自治体の首長から「あまりに政府からの情報が少ない」「ワクチン接種券の配布タイミングも決められない」などと、現場の悲痛な声を聴きました。国会ではヒアリングや質疑を繰り返して情報を開示し、少しでも皆さんに現状を知らせるために動いています。

感染症対策に与党も野党もありません。ひとりでも多くの命を守るために、菅総理や河野大臣に直接みなさんの声を届け、政治の信頼を取り戻すために働きます!

## IRよりPCR! 府民生活をささえる府政を

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、早いもので一年が過ぎました。ワクチンの接種も順次開始される予定ですが、変異株の問題もあり、ワクチンですべての問題が解消されるわけではありません。今後も程度の差はあれ、感染拡大の波が何度か訪れることは間違いないでしょう。

しかし、大阪府の行政は楽観論に立ち、長期的に必要な人員の拡張や資材の確保を怠りがちです。このことよって被害を受けるのは、現場の医療・保健関係者であり、そしてなにより病気の脅威に晒される府民です。今後も、保健関係者の組合や医師会などからの意見も大いに参考にし、府に最悪の事態を想定した、早め早めの対応と、それを担う現場が十分な体制をとれる、府民の生活と健康を支えるための予算措置を強力に求めています。

### ●小さなことからコツコツと 宿泊療養のお弁当が改善されました

新型コロナウイルス感染症の軽症者のホテル療養で出されるお弁当の内容が酷い、とSNSで話題になりました。調査してみると、確かに他府県と比べお弁当の予算も少なく、無症状者だけでなく軽～中等症者も食べるお弁当であるにも関わらず、栄養士など専門家の目も入っていないことが発覚、厚生労働省の通知文書などを確認し、大阪府に改善を求めました。同時期にマスコミでも話題になったこともあり、予算もアップし、メニューの選択幅が増えるなど、少しずつですが改善が進んでいます。



### ●やっぱり大阪に カジノはいらない

大阪湾の埋立地・夢洲へのカジノを含むIR（統合型リゾート）の誘致、当初は2025年の大阪・関西万博の前にIRを開業し、万博会場につながる鉄道延伸事業の一部をIR事業者負担させる予定でした。ところが計画が大幅に遅れ、今では2020年代後半の開業を目指す、とされています。また万博も当初予定されていた1250億の建設費用が、1850億へと膨れ上がっています。

コロナ前に立てられたインバウンド頼みの万博開催やIR誘致は、根本からそのあり方を見直さざるを得ません。12月の委員会質問で、この問題を吉村知事に質問し、外資を基軸としたカジノ誘致による大阪の活性化ではなく、地域の魅力を見直した、内発的で持続可能な施策への転換を訴えました。

### ●広域一元化より基礎自治体の支援を

5年ぶり2度目の大阪市廃止分割を問う住民投票が実施され、維新の看板政策「大阪都構想」が否決されたのは昨年11月のことでした。

ところが今年の2月議会に、都構想もどきの広域一元化条例が提案され、維新・公明などの賛成で可決される見込みです。この条例では、これまで進められてきた地方分権の流れに逆行し、基礎自治体の都市計画などのまちづくりの権限や財源を大阪府に任せてしまうことになります。

今は、新型コロナ対策に全力を尽くす時です。そんなことにかまけてる暇はないはずです。

国のコロナ対策の交付金を活用して行われる時短協力金事業、大阪府では感染防止宣言ステッカーの導入が必須となっています。ところが事業者が時短営業の準備にあてる十分な期間が取られず、時短営業に協力しながら協力金の対象にならないケースが発生しています。大阪府は制度のハードルを無駄に上げることなく、広く支援金を支給できるように、柔軟な運用を行うよう求めています。



(感染防止宣言ステッカー (サンプル))

▼緊急事態宣言が発令されたことを受けて、大阪府営業時間短縮協力金制度が実施されます。1/14（準備期間が必要な場合は1/18）～緊急事態宣言解除まで、府全域で営業時間短縮要請に協力いただいた飲食店等に一店舗あたり日額6万円の協力金が支給されます。手続きは大阪府のHPをご覧ください。

詳しくはこちらから



大阪府営業時間  
短縮協力金

# 高槻市議会

## 岡井すみよ もりもと信之 遠矢かえ子

### ●新型コロナウイルスワクチン 接種事業について

立憲民主党たかつきでは、国、大阪府、高槻市と連携し、市民の方が安心できる新型コロナウイルスワクチン接種事業が、迅速に行われるよう取り組んでいます。

■対象者：接種日に高槻市の住民基本台帳に記載されている者。

(16歳未満は当対象外の見込み。長期入院している者や基礎疾患のある者、出産のため里帰り中の妊婦などは市民以外でも、かかりつけ医にて接種可能)

■接種順位：①医療従事者等 ②65歳以上の高齢者 ③その他の方

■接種について：接種費用の本人負担なし。接種は任意。2回の接種が必要

■集団接種会場：保健センター、西部地域保健センター、子ども未来館

■個別接種会場：各医療機関

#### ■主な接種スケジュール

対象者	1月	2月	3月	4月
医療従事者等	医療機関との調整	超低温冷凍庫の配備 体制確保	体制確保	
65歳以上の高齢者	関係機関との調整・接種会場の確保	超低温冷凍庫の配備 接種券の発行準備&印刷	超低温冷凍庫の配備 郵送	体制確保
その他の方		接種券の発行準備&印刷		郵送

※体制確保：接種開始の体制確保のことです。

### ●新型コロナウイルス感染対策・ 支援策を高槻市に要望

私たちからの提案により、高槻市議会では会派出張費を減額し、これを財源として新型コロナ支援策「障がい者授産事業支援に20万円の給付」を実現しました。

また、感染防止対策を行った公共交通事業者に対して、総額980万円の支援金の給付が実現しました。対象事業者は、市内に営業所がある乗合バス(市営、京阪、阪急)及びタクシー事業者(法人4社、個人タクシー58台)です。高槻市営バスについては、9月議会で減収補填の為に約5億9千万円の補正予算も成立しました。

引き続き、緊急事態宣言の発令により経営が厳し

#### ■公共交通事業者への支援

	台数	給付額	計
バス	210	3万円/台	630万円
タクシー	350	1万円/台	350万円
合計			980万円

■接種予約：医療機関もしくはWEB予約、高槻市コールセンター(多言語対応可)での予約

■外出できない市民への接種：訪問医療にて対応

い公共交通事業者に対して、国の臨時交付金を活用した運行支援策を求めています。



### 立憲民主党たかつきの政策提言

- NPO、市民公益活動サポートセンターへの支援
- 多様性のある富田地区のまちづくり
- 配偶者暴力相談支援センターの設置
- 「聞こえない」から「聞こえる」防災行政無線へ
- 榎田地区倒木災害からの復旧と地元産木材の活用
- 障がいの有無に関わらず、みんなで遊べるインクルーシブ公園の整備促進
- コミュニティバスの実現や山間路線などの公共交通の維持
- 就学前施設の潜在的待機児童をゼロに
- 中学校の35人以下学級の実現

# 島本町議会 東田まさき

## ●新型コロナワクチン関連の予算が成立！

2月4日に行われた2月臨時議会において新型コロナワクチン関連の予算が上程されました。大きくはワクチン接種用クーポン券関連・コールセンター関連・ディープフリーザー設置関連（島本町には3台の予定）です。

新型コロナワクチン（接種は任意です）については、まだまだ情報が行き渡っていないことから、「副反応が心配」などの不安の声もよく耳にします。住民の皆さんの不安を解消するためにも、町広報でワクチン接種への取り組み・体制などの特集を掲載するなど、わかりやすい情報提供をするよう町に求めています。

今後、ワクチン確保の動向などによりスケジュールに変動があることも予想されますが、住民のみなさんが安心できるように適切な情報提供に努めてまいります。

## ●待機児童の解消が実現！



現在、建設中の第四保育所

これまで求めてきた待機児童の解消が実現します。民間保育園（小規模保育事業所含む）の誘致などにより大阪府内ワーストで

あった待機児童が令和3年4月1日時点でゼロとなる見通しです。また現在ふれあいセンター内に設置されている第四保育所については一時移転の際、保護者や児童達の不安解消・丁寧な対応を一般質問等で取り上げ不安の

解消などに取り組んできました。

新しい第四保育所は現在工事が進められており、本年4月1日開設予定です。

## ●役場庁舎の新築移転が再スタート！

12月議会において、一年以上棚上げとなっていた新庁舎建設関連である新庁舎建設設計等業務委託が債務負担行為※として提案



設置後49年が経過した役場庁舎

され、賛成多数で可決されました。設置後49年が経過し老朽化が進み耐震性能も満たしていない役場庁舎の建設が再スタートを切る事となりました。防災拠点であり、住民サービスの提供の場である役場庁舎の新築移転を推進してまいりましたが、今年度中に実施設計に取り掛かる事が国からの有利な起債を受けることができる最終年限であり、ギリギリの滑り込みで間に合わせる事ができました。令和元年度一般会計決算不認定の理由を受け動き出した事業であり、議会主導での成果と考えています。

※「債務負担行為」庁舎建設は数年に渡って継続する事業です。あらかじめ後の年度の債務（支払い）を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

## 誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現にむけて



住民の皆さん、児童・生徒たちの不安・負担軽減の為、町長・教育長に緊急要望を提出。



安全ボランティアとして毎朝の見守り活動・通学路の危険箇所の点検。



各水路や山間部の点検を行い危険箇所の抽出に努めてきました。



大きな被害をもたらした台風21号での倒木の撤去作業に森林ボランティアとして参加。



人権講座「小さな命、触れて、学んで」～かぶと虫の生態や飼育を通じて命の大切さを学ぶ～に参画。

